

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成 年 月 日

協議会名:各務原市地域公共交通会議

評価対象事業名:地域内フィーダー系統

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名 等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運 行(航)区間、整備内容等を記 載(陸上交通に係る確保維持 事業において、車両減価償却 費等及び公有民営方式車両購 入費に係る国庫補助金の交付 を受けている場合、離島航路に 係る確保維持事業において離 島航路構造改革補助(調査検 討の経費を除く。)を受けている 場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間に おいて、前回の事業評価結果 をどのように生活交通確保維 持改善計画に反映させた上で 事業を実施したかを記載】	A ・ B ・ C 評価	【計画に基づく事業が適切 に実施されたかを記載。計 画どおり実施されなかった 場合には、理由等記載】	A ・ B ・ C 評価 【計画に位置付けられた定 量的な目標・効果が達成さ れたかを、目標ごとに記載。 目標・効果が達成できな かった場合には、理由等を 分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより 適切な目標を記載。改善策は、 事業者の取り組みだけでなく、 地域の取り組みについて広く記 載。特に、評価結果を生活交通 確保維持改善計画にどのよう に反映させるか(方向性又は具 体的な内容)を必ず記載するこ と。】 ※なお、当該年度で事業が完 了した場合はその旨記載
株式会社岐阜バスコミュニ ティ	ふれあいバス蘇原線	平成27年10月に再編した新路 線であり、路線再編に向けて地 域での意見交換、乗降調査等 を踏まえて事業を実施	A	計画どおり事業は適切に実 施	【目標値】 乗車人数が5人/便以上、 25,500人/年以上 【結果】 乗車人数 11.7人/便、 40,178人/年	再編からようやく1年が経過し たタイミングであり、まだまだ新 路線、新ダイヤが浸透できてい ない部分がある。 今後、利用促進や地域要望、 利用実態を把握するための調 査を実施し、現行の資源で可 能な範囲でニーズに合わせた 路線後との改正を検討してい く。
株式会社岐阜バスコミュニ ティ	ふれあいバス東西線	平成27年10月に再編した新路 線であり、路線再編に向けて地 域での意見交換、乗降調査等 を踏まえて事業を実施	A	計画どおり事業は適切に実 施	【目標値】 乗車人数が5人/便以上、 10,000人/年以上 【結果】 乗車人数 12.3人/便 14,968人/年	